



つちおと

7/29(水) ～ 「第1回みやぎ地域復興ミーティング in 南三陸町」が開催されました！ ～

●7月29日(水)、宮城県の主催で「第1回みやぎ地域復興ミーティング in 南三陸町」が開催されました。

被災地の復興に向けて、住民が主体となった様々な団体取り組み、その成果を出しているところです。本会議はそういった活動の情報発信等の場となるもので、宮城県が主催し、これまで仙台市や石巻市でも開催されてきていますが、南三陸町では初めての開催となり、約70名が参加しました。

今回は、「団体の自立的運営」を見据えて3団体が事例報告を行いました。

(特非) ピースジャム(気仙沼市)からは、地域の母親たちが育児をしながら行うジャムやベビーモスリンの製造・販売や、キッズルームの整備、育児カフェや地域交流イベント実施などの活動が報告されました。また、(一社)さとうみファーム(南三陸町)は、羊を活用した地域活性化事業や、シーカヤック体験の取り組みについて発表しました。(一社)コミュニティスペースうみねこ(女川町)からは、住民が主体的に行っている布草履づくりや畑づくり、加工食品やストラップなどの製造や販売について報告がありました。

その後のパネルディスカッションでは、今後の自立的な運営に向けて、収益性アップのための製品の販路拡大や魅力のある製品づくりをどうするかについて議論されました。これまでは支援の一環として製品が購入されていた面もありますが、今後はマーケティングの観点をよりシビアに見ていくこと、製品にストーリーという付加価値をつけていくということ、そして他団体や行政、地域の人を巻き込んでいくことの重要性が指摘されました。



南三陸町の平成の森アリーナで開催



パネルディスカッションの様子

◆梅雨も明け、今年は、大雨等の災害もなくほっとしております。連日の猛暑で、夏バテ気味の方もいらっしゃるのではないかと思います。

こまめな水分補給、十分な睡眠、栄養を取るなど体調管理に気をつけましょう。

当管内(気仙沼市、南三陸町)でも、お祭りが盛んに開催されております。私も参加させて頂きましたが、暑い中、汗だくで準備されていた関係者の皆様の御苦労に、感謝したいと思います。そのおかげで、お祭りを十分に満喫できたのではないかと思います。(檜)

～ 進む震災復興! ～

気仙沼市では、住まいの復興が目に見えてきました。防集事業による宅地造成が完成し、自宅再建に移りつつある地区を紹介いたします。



とよまざわ
・登米沢地区：本吉津谷バイパスの東に位置し、平成26年3月市内第一番目の引き渡し6区画中5戸建築。



こいずみはま
・小泉浜地区：市内防集最南に位置し平成26年10月引き渡し5区画中5戸建築。



かじがうら
・梶ヶ浦地区：大島架橋（鶴亀大橋）の本土側傍に位置し、平成26年10月引き渡し20区画中11戸建築、集会所も併設。



こごしお
・小々汐地区：旧浦島小学校南に位置し、平成26年10月引き渡し12区画中8戸建築、集会所も併設。



おおさわびー
・大沢B地区：唐桑浄水場北側に位置し、平成26年10月唐桑地域一番目の引き渡し17区画中11戸建築。



こいずみひがし
・小泉東地区：国道45号に隣接し、平成27年1月引き渡し11区画中10戸建築。

7/26日

～夏真っ盛り! 砂の造形大会が開催されました!～



砂のお城を作る子どもたち

7月26日、気仙沼本吉町大谷の砂浜で砂の造形大会が開催されました。砂の造形大会はもともと、大谷小学校の学校行事として行われていたものですが、震災で海岸が大きな被害を受けたこともあり、これまで開催がありませんでした。今回、大谷小学校の総合学習の授業（地域のまちづくりがテーマ）の時にあがった「震災前のように海で泳いだり浜で遊びたい」という子ども達の声をきっかけに、大谷^{まち}里海づくり検討委員会が開催を決めました。大谷小学校の子どもたちや保護者ら約50人が参加し、お城や巨大なカメ、ホヤぼーやなど、思い思いの砂の作品が出来上がりました。

今は遊泳できない大谷海水浴場ですが、子ども達に少しでも地元の海や浜に触れられる機会をつくりたいと開催されたイベントでした。

～復興^{アイ}全力Iターン! タクビー 伊藤 拓也代表に聞く～

復興だけでなく地方創生への取り組みも求められている昨今、人口の減少や水産加工場等での人手不足が課題の1つとなっています。そんな中、街の外からの定住者、Iターンが注目されています。Iターン人材を通じて被災地の魅力を掘り起こそうと、今回も気仙沼市にIターンされた方にお話を聞いてみました。

ー気仙沼にIターンされたきっかけは?

千葉に住んでいましたが、気仙沼出身のパートナーと結婚した2008年頃から何度も気仙沼に来ていました。美味しい食べ物、きれいな景色、そしてなにより明るく楽しい気仙沼人の気質に惹かれて、いつか気仙沼に住みたいと思っていました。そんな折、2012年の春に仕事上の転機があったので勤めていた会社を辞め、独立して気仙沼に転居し、タクビーとして仕事を始めました。

ータクビーのお仕事は何ですか?

取得した国家資格（2級 舞台機構技能調整士）を活かしてイベントやお祭りなどの音響の仕事をしています。そのほか、会社や店舗、団体のホームページを作るお仕事や、楽器や音響機器などの輸入業、通信販売業に取り組んでいます。

ー気仙沼の魅力は何だと思いますか?

気仙沼の魅力は、四季の移ろいが確かに感じられるところにあると思います。春はうぐいすが鳴き、夏はかつおが食卓にあがり、秋にはさんまを七輪で焼いて、冬の夜には星が降るように見えます。こういうことは気仙沼に住むとあたりまえのようですが、東京で会社に通う毎日を送っているとどれも特別で、素敵なことです。

ー今後の抱負は?

音響作業やホームページ制作のお仕事をするようになってから、気仙沼のたくさんの人たちや、市外からいらっしゃるたくさんの人たちとお会いして、一緒に何かをする機会が増えてきています。一生懸命いい仕事をして、このご縁をもっともっと大きいものに育てていきたいと思っています。

私の周りには他にもIターンの方がいて、皆さんユニークなお仕事をされています。Iターン者は「よそもの」ならではの仕事の経験や技術を活かして、気仙沼に新しい価値を生み出すことができるとと思っています。気仙沼に今までなかったものをつくり出し、気仙沼に暮らす全ての人がもっと豊かに過ごせるように、これからも色々なことにチャレンジしていきたいです。



お工作中的の伊藤代表



地域のイベントなどでご活躍

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【8月15日（土）】大谷海岸花火祭り With 大島 ～気仙沼市～

震災による犠牲者の鎮魂と未来への希望込めた【大谷海岸花火祭り With 大島】が8月15日（土）午後6時から道の駅大谷海岸で行われる。花火師：斉木智・大杉しのぶ（山梨県マルゴー株式会社）昨年行われた世界花火師協議会で見事優勝！！

【8月23日（日）】トリコローレ音楽祭2015 ～石巻市～

石巻の地から各地に向けて発信する、音楽の祭典。150 バンド、総勢 700 名以上の演奏者により石巻市中心市街地 14 会場で演奏が行われる。

◇ 開始日時 11:00～20:00（予定） ◇会場 石巻市中心市街地

◇問い合わせ先 トリコローレ音楽祭実行委員会事務局（街づくりまんぼう内）

詳細についてはこちらからご覧ください⇒ <http://www.man-bow.com/tricolore/>

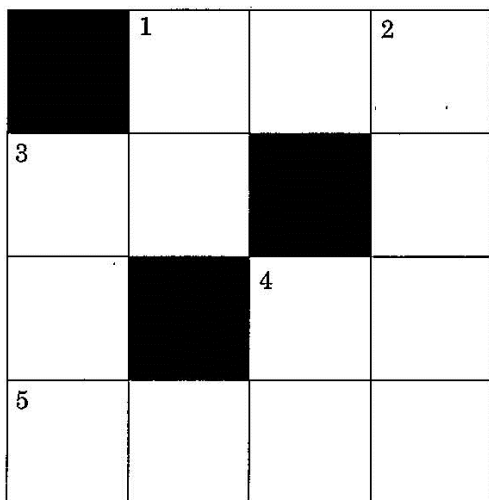
【8月29日（土）】八幡川かがり火まつり復興市 ～南三陸町～

過ぎゆく夏に思いを馳せながら楽しむお祭り。当日は飲食や物販のテントが立ち並び、夜にはかがり火が灯され、会場は幻想的な雰囲気に包まれる。ステージでは、地元の伝統芸能や音楽ステージが開催される。

◇開催時間 13:30～21:00（予定） ◇会場 南三陸さんさん商店街特設会場（予定）

◇問い合わせ先 南三陸復興市実行委員会 090(7077)2550

クロスワードにチャレンジ！！



【タテのかぎ】

1. 新潟県西部にある島。〇〇がしま。
2. 巨体と独特の体型が特徴の海水魚。
3. 長さの単位。25.4 mm = 1〇〇〇
4. 全国〇〇浦々。

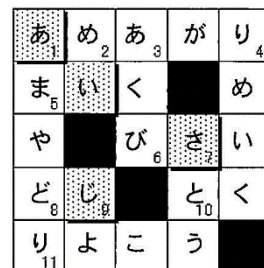
【ヨコのかぎ】

1. 「秋の味覚」の代表。各地でこのおまつりも。
2. 古典落語の演目「〇〇の茶碗」
4. 体にある経穴。
5. 悲しみに胸を痛める。
〇〇〇〇な面持ち。

【編集後記】

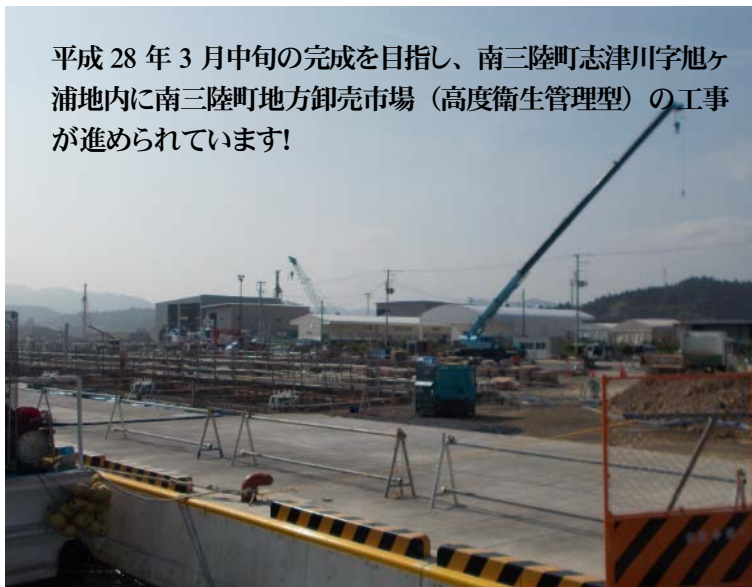
◆夏真っ盛りです。気仙沼も毎日日差しが強いですね。そういう中で公園の木陰で昼を食べたりすると涼しいです。

（前号のクロスワードの回答）



【あ じ さ い】

平成 28 年 3 月中旬の完成を目指し、南三陸町志津川字旭ヶ浦地内に南三陸町地方卸売市場（高度衛生管理型）の工事が進められています！



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>